

教科名	国語	科目名	国語総合（古典）	単位数	2単位
学年	第 1 学年		男子 11名 女子 4 名	計 15名	
教科担任氏名	堀内 佳幾		使用教科書	東京書籍 新編国語総合	
科目の目標	・古文に親しみ、歴史的かなづかいを正しく読めるようにする。 ・時代背景や作者たちの状況を知り、心情を理解する。 ・古い時代の日本人の考えが私たちにどのように影響しているか、考える。				

評価の観点	趣 旨	配 分
関心・意欲・態度	・文学的な文章(古文)を、文章の種類や類型、書きぶりの違いなどを踏まえて読もうとしている。また、言語文化に対する関心を深め、理解しようとしている。	30%
思考・判断	・古文を読み、その時代に生きた作者たちの思いや、考えを読み取り、現代人である私たちの感じ方、考え方と比べ違いを考えようとしている。	20%
技能・表現	・文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりし、自分の考えを深め、発展させようとしている。	20%
知識・理解	・古文の形態や文体の違い、特色について理解している。 ・文語文を正しく解釈、理解できる。	30%

月	時間数	学 習 内 容	関・意・態	思・判	技・表	知・理	評価方法
4	5	古文に親しむ(古語とかな遣い) (1)古文入門 「児のそら寝」 ・歴史的かなづかい	○		○	○	観察 課題プリント
5	7	「用光と白波」 文語文法 動詞の活用	○	○	○	○	確認テスト
6	8	助動詞の種類と活用	○	○	○	○	確認テスト
7	5	(2)随筆 『徒然草』 「亀山殿の御池に」	○		○	○	課題プリント
8	6	「雪のいとおもしろう降りたりし朝」	○		○	○	課題プリント
9	8	『枕草子』 「うつくしきもの」	○	○	○	○	課題プリント
10	8	(3) 詩歌 「折々のうた」 万葉・古今・新古今 和歌の修辞	○	○	○	○	課題プリント 確認テスト

1 1	8	文語文法 形容詞の活用					
		形容動詞の活用	○		○	○	課題プリント
		助詞の種類と用法	○		○	○	課題プリント
1 2	5	(4) 物語					
		『伊勢物語』	○		○	○	課題プリント
							確認テスト
1	4	『平家物語』	○		○	○	課題プリント
2	4						確認テスト
3	2						